

議 事

第2次岡山県スポーツ推進計画の進捗状況（2024年度実績） について

ア 評価方法、基本施策別の評価結果 1 ページ

イ 数値目標の進捗状況 3 ページ

ウ 第2次岡山県スポーツ推進計画（2025年
改訂版） 2024年度施策評価シート 6 ページ

第2次岡山県スポーツ推進計画の進捗状況（2024年度実績）について

ア 評価方法、基本施策別の評価結果

第2次岡山県スポーツ推進計画に基づいて実施する施策が、施策目標に対してどれほど達成できているか判断するため、5段階で評価したものです。

【第2次岡山県スポーツ推進計画（2025年改訂版）】

計画の期間を令和5（2023）年度から令和10（2028）年度までの6年間とし、4つの基本施策を実施しています。

※令和7（2025）年3月に策定の「第4次晴れの国おかやま生き生きプラン」を踏まえ、令和7（2025）年3月に計画を改訂し、計画の期間を1年延長し令和10（2028）年度までの6年間にするとともに、数値目標を見直しました。

（ア）評価方法

①評価指標

5点	目標を大きく上回り、著しく高い成果が現れている。
4点	目標を上回っており、具体的成果が現れている。
3点	概ね目標を達成しており、具体的成果が現れている。
2点	目標に達しておらず、関連する所管事業の改善が必要である。
1点	目標を大きく下回り、関連する所管事業の根本的な見直しが必要である。

②総合評価

関係各課の評価の平均値を出し、小数第1位まで数値化している。

（イ）基本施策別の評価結果

6～37ページのとおり

（ウ）総 括

第2次岡山県スポーツ推進計画の2年目である令和6（2024）年度は、総合評価において前年度から下がっている項目はない。数値目標に関しては、今後の伸びが期待できるものの、目標から開きがある項目もあり、更に各施策を推進する必要がある。

基本施策Ⅰ：多様な主体におけるライフステージに応じた運動・スポーツ活動の機会創出

項 目	総合評価	前年度比
1 子ども・若者の運動・スポーツ活動の推進	3.0 (3.0)	→
2 働く世代・子育て世代、高齢者の運動・スポーツ活動の推進	3.3 (3.3)	→
3 学校における体育・スポーツ活動の充実		
(1) 子どもの体力向上に向けた取組	3.0 (3.0)	→
(2) 運動部活動改革の推進	3.0 (3.0)	→
4 障害のある人の運動・スポーツ活動の推進		
(1) 障害者スポーツへの理解と参加機会の確保	3.0 (3.0)	→
(2) 障害者スポーツの指導者の養成やボランティアの参加推進	3.0 (3.0)	→

基本施策Ⅱ：アスリートの育成と持続可能な指導・支援システムの構築

項 目	総合評価	前年度比
1 アスリートの育成・強化	3.0 (3.0)	→
2 アスリート育成パスウェイの構築	3.0 (3.0)	→
3 指導者の育成・資質向上	4.0 (3.0)	↑
4 障害者アスリートの育成と支援体制の構築	3.0 (3.0)	→
5 アスリートの安全・安心の確保	3.0 (3.0)	→

基本施策Ⅲ：スポーツを通じたともに生き豊かさが実感できる地域の創造

項 目	総合評価	前年度比
1 地域と連携した運動・スポーツ活動の推進による共生社会の実現	3.0 (3.0)	→
2 大規模スポーツイベント、合宿等を通じた地域活性化	3.3 (3.3)	→
3 トップクラブチームを核とした地域活性化	3.0 (3.0)	→
4 第79回国民スポーツ大会冬季大会の開催	3.0 (3.0)	→

基本施策Ⅳ：スポーツ環境の整備

項 目	総合評価	前年度比
1 指導者・ボランティアなど多様な人材の育成、活躍の場の創出	3.3 (3.3)	→
2 スポーツ施設の機能の充実と活用の促進	3.0 (2.8)	↑
3 スポーツ界におけるDXの推進	3.0 (3.0)	→
4 誰もがスポーツに気軽に親しめる情報発信	3.0 (3.0)	→

※「総合評価」の括弧内は、前年度の総合評価を参考に記載しています。

イ 数値目標の進捗状況

第2次岡山県スポーツ推進計画（2025年改訂版）は、計画の期間を令和5（2023）年度から令和10（2028）年度までの6年間とし、4つの基本施策において16項目の数値目標を設定している。

基本施策Ⅰ

多様な主体におけるライフステージに応じた運動・スポーツ活動の機会創出

項 目		基準値 令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	直 近 令和6年度 (2024年度)	目標値 令和10年度 (2028年度)
成人男女の1週間に1日以上 運動・スポーツをする割合		38.9%	37.1%	43.8%	55.0%
1週間の総運 動時間数60分 未満の児童生 徒数の割合 (※)	【小5男子】	9.5%	9.1%	9.8%	4.3%
	【小5女子】	15.5%	16.4%	17.1%	7.4%
	【中2男子】	7.6%	12.2%	9.0%	3.7%
	【中2女子】	17.9%	25.7%	21.6%	8.9%
運動やスポー ツをすることが好きな児童 生徒数の割合 (※)	【小5男子】	69.2%	72.1%	72.5%	74.0%
	【小5女子】	53.1%	53.5%	54.7%	56.0%
	【中2男子】	64.1%	64.3%	67.7%	66.0%
	【中2女子】	47.8%	44.9%	45.9%	47.0%
新体力テスト における総合 評価C以上の 児童生徒数の 割合 (※)	【小5男子】	64.3%	65.6%	64.3%	80%以上
	【小5女子】	69.9%	70.7%	69.6%	80%以上
	【中2男子】	67.6%	67.3%	71.2%	85%以上
	【中2女子】	81.7%	80.7%	81.6%	85%以上
障害者スポーツ・レクリエー ション教室等の開催回数		年間 26回 (*R3年度)	47回	49回	年間 50回以上

※ 政令指定都市である岡山市は、義務教育の実施に様々な権限を有し、岡山市の実態を踏まえた独自の教育施策を推進しているが、第2次岡山県スポーツ推進計画は、岡山県の全世代の県民を対象にしていることなどから、岡山市も含んだ数値を目標としている。

基本施策Ⅱ

アスリートの育成と持続可能な指導・支援システムの構築

項 目	基準値 令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	直 近 令和6年度 (2024年度)	目標値 令和10年度 (2028年度)
国民スポーツ大会における天皇杯順位 (※1)	16位 (*R4年)	20位	15位	10位台
世界大会の出場者数	13人 (※2)	14人	15人	15人
「岡山県アスリート就職支援事業」による県内就職内定者	4人 (*R3年度)	4人	3人	5人
日本スポーツ協会公認スポーツ指導者登録者数	3,206人	3,486人	4,012人	3,600人

※1 「国民体育大会」は、令和6年(第78回大会)から「国民スポーツ大会」に名称を変更している。

※2 平成30年～令和3年(令和2年を除く)の平均

基本施策Ⅲ

スポーツを通じたともに生き豊かさが実感できる地域の創造

項 目	基準値 令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	直 近 令和6年度 (2024年度)	目標値 令和10年度 (2028年度)
地域課題に応える取組の推進として学校との連携を行っている総合型地域スポーツクラブの割合	34.3% (*R3年度)	51.7%	48.4%	50.0%
「普段の生活の中で芸術・文化、スポーツ等を実践したり、観て楽しめる地域になっている」と感じている人の割合	28.2%	31.0%	30.6%	38.0%
県内で行われたスポーツ大会やスポーツの試合を観戦した人の割合 (※)	—	21.7% (基準値)	23.6%	25.0%
国際スポーツイベント等誘致件数	2件 (*R4年度見込)	3件	3件	2件以上
トップクラブチームのホームゲームにおける観客動員数	111千人 (*R3年度)	248千人	264千人	267千人

※ 令和6年度の計画改訂により、目標値が新たに設定された項目である。

基本施策Ⅳ

スポーツ環境の整備

項 目	基準値 令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	直 近 令和6年度 (2024年度)	目標値 令和10年度 (2028年度)
県営スポーツ施設利用者数	492千人 (*R3年度)	<u>1,480千人</u> (※1)	1,576千人	1,847千人
スポーツ情報ウェブサイト 「おかやまスポーツナビ」の アクセス数	28,103件 (※2)	26,273件	22,328件	42,000件

※1 2023年度施策評価シートにおける実績値に誤りがあったため、令和5年度における実績値について「1,776千人」から「1,480千人」に訂正を行う。

※2 平成30年度～令和3年度の平均

第2次岡山県スポーツ推進計画（2025年改訂版） 2024年度施策評価シート

1 評価施策名

基本施策	I 多様な主体におけるライフステージに応じた運動・スポーツ活動の機会創出		
施策の方向性	多様な主体が参画できる生涯スポーツの推進によるスポーツ人口の拡大と生きがい・元気づくりの創出		
施策名	1 子ども・若者の運動・スポーツ活動の推進	担当課室	子ども・福祉部子ども未来課 教育庁保健体育課 環境文化部スポーツ振興課

2 課室施策評価

(1) 推進計画における数値目標

数値目標	指標名	設定なし	計画策定時	
	指標の説明		目標値	
			実績値	

(2) 成果及び課題

成果	・ 幼児の運動遊び、リズム遊び等を行うおかやま地域子育て支援拠点の認知度向上の取組や情報発信を行った。 ・ おかやま地域子育て支援拠点の従事者を対象とした研修を実施し、従事者の育成、質の向上を図った。 ・ 国公立幼稚園・認定こども園に対し、スポーツ庁が主催する体育・保健体育指導力向上研修の研修内容を踏まえた研修会を実施し、各園における運動遊びの更なる充実を図った。 ・ 幼児期指導者や保護者向けに「アクティブ・チャイルド・プログラム」の研修会を開催するとともに、県内の保育園や幼稚園等に指導員を派遣し、同プログラムの普及を図った。 ・ 部活動の地域移行に向け、市町村や競技団体等を対象に合同連絡会を開催し、実証事業の進捗状況や課題、成果などを共有するとともに、関係者間の情報交換を図るなど、取組の促進に努めた。また、指導者となり得る方を対象に、資質向上のための研修会を開催するとともに、研修会において、人材バンクへの登録について働きかけるなど、指導者の確保を図った。 ・ 「部活動の地域移行」推進事業を実施し、モデル地域（7市町）では、スポーツ少年団との連携や、総合型地域スポーツクラブ、市町村教育委員会が運営主体となる取組が見られるなど、子どものニーズに応じた活動を行うことができる体制を整えることができた。 ・ 岡山県スポーツ協会を通じ、総合型地域スポーツクラブやスポーツ少年団等の活動を支援した。 ・ 県内7トップクラブチームのホームゲームで開催した「県民応援デー」において、子どもや若者がスポーツ活動に取り組む機会の提供、意欲の向上に努めた。 ・ トップクラブチーム等に所属する選手・指導者を学校等に派遣する「トップアスリート派遣事業」等を実施して、青少年がアスリートと接する機会の提供、指導者の資質向上につながった。
課題	・ 従事者の更なる質の向上を図る必要がある。 ・ 「学校体育実技指導資料」をより有効に活用する必要がある。 ・ アクティブ・チャイルド・プログラムの定着に向け、対象を絞り効果的な情報発信に取り組む必要がある。 ・ 部活動の地域移行に向け、市町村等と連携を図り、好事例の横展開等の情報共有を行うとともに、指導者の更なる確保、資質向上を図る必要がある。 ・ モデル地域（7市町）以外の市町村においても地域移行が進むよう、アドバイザーの派遣等支援が必要である。 ・ スポーツに関わる人のさらなる増加に向けて、引き続きより効果的な企画内容について検討する必要がある。

3 各課における評価

番号	部課名	事務事業の実施内容、成果・課題及び総合評価						
1	子ども未来課	事業内容	・地域子育て支援拠点事業を実施する市町村への支援（子ども・子育て支援交付金の交付、事業実施への技術的助言等） ・地域子育て支援拠点事業に従事する者の育成、資質向上 ・地域子育て支援拠点事業のPR			評価	2023年度	3
							2024年度	3
		成果・課題	【成果】 ・実施市町村数：26市町村 ・子育て支援員研修修了者：133名 ・PR：岡山県ホームページによる紹介 【課題】 ・地域子育て支援拠点事業の認知度向上 ・さらなる従事者の育成及び資質向上	2025年度				
				2026年度				
				2027年度				
				2028年度				
				2	保健体育課		事業内容	・運動遊び等の指導力向上につながる指導者研修会の実施 ・運動部活動の地域クラブ活動への移行に向けた取組
2024年度	3							
成果・課題	【成果】 ・国公立幼稚園・認定こども園に対し、スポーツ庁が主催する体育・保健体育指導力向上研修の研修内容を踏まえた研修会を8月に2回（参加者数：計152名）実施し、各園における運動遊びの更なる充実を図った。 ・「部活動の地域移行」推進事業を実施し、モデル地域（7市町）では、スポーツ少年団との連携や、総合型地域スポーツクラブ、市町村教育委員会が運営主体となる取組が見られるなど、子どものニーズに応じた活動を行うことができる体制を整えることができた。 ・地域移行支援アドバイザーを7市町、延べ17回派遣し、市町の取り組みの支援を行った。 【課題】 ・「学校体育実技指導資料」をより有効に活用する必要がある。 ・モデル地域（7市町）以外の市町村でも、地域移行が進むよう支援が必要である。また、地域移行をさらに進めるためには、先導役が必要である。	2025年度						
		2026年度						
		2027年度						
		2028年度						

3	スポーツ振興課	事業内容	・幼児期指導者や保護者向けに「アクティブ・チャイルド・プログラム」の研修会を開催するとともに、県内の保育園や幼稚園等に指導員を派遣し、同プログラムの普及を図る。(ライフステージに応じたスポーツ活動推進事業) ・部活動の地域移行に当たり、市町村や競技団体等を対象に合同連絡会を開催する。また、指導者の人材確保や資質の向上を図るために、研修会を開催するとともに、研修会において、人材バンクへの登録を働きかける。(地域クラブ活動環境整備事業) ・総合型地域スポーツクラブ、スポーツ少年団等の活動を支援し、スポーツの裾野拡大や、指導者等の資質向上に取り組む。(県民スポーツ推進事業ほか) ・トップクラブチームのホームゲームにおける応援イベント「県民応援デー」等を実施し、青少年がスポーツ活動に取り組むきっかけづくりを提供する。 ・トップクラブチーム等に所属する選手・指導者を学校やスポーツ少年団等へ派遣する。(晴れの国トップアスリート派遣事業)			
			成果・課題	評価	2023年度	3
					2024年度	3
					2025年度	
					2026年度	
					2027年度	
					2028年度	
					【成果】 ・アクティブ・チャイルド・プログラムを活用した親子体験会・指導者研修会を開催し、運動遊びを通してプログラムの普及を行った(親子体験会：34組48名、指導者研修会：68名)。また、県内教育委員会や幼稚園、保育園等に幼児指導者を9回派遣し(参加者391人)、様々な運動遊びの指導を行い、幼児期からのスポーツ活動のきっかけ作り等プログラムの普及を図ることができた。 ・部活動の地域移行に向け、県教委と連携を図り、市町村や競技団体等を対象に合同連絡会を3回開催し、実証事業の進捗状況や課題、成果などを共有するとともに、関係者間の情報交換など取組の促進に努めた。また、市町村と連携し、今後指導者となり得る人材について把握するとともに、既存の人材バンクのシステム改修を行い、市町村や関係者間での指導者情報の共有を進めた。さらに、指導者となり得る方を対象に、指導に必要なとなる知識を習得する、資質向上のための研修会を4回開催(参加者：251人)するとともに、研修会において、人材バンクへの登録について働きかけるなど、指導者の確保を図った。 ・岡山県スポーツ協会を通じ、総合型地域スポーツクラブやスポーツ少年団等の活動が充実するよう支援した。 ・「県民応援デー」において、スポーツ体験やエスコートキッズなどの企画を実施し、青少年がスポーツ活動に取り組む機会の提供を行うとともに、意欲の向上に努めた。 ・トップクラブチーム等に所属する選手・指導者を学校等に派遣する「トップアスリート派遣事業」等を実施して、スポーツの裾野拡大を図った。(R6年度：287回派遣、R5年度：292回派遣) 【課題】 ・アクティブ・チャイルド・プログラムの定着に向け、対象を絞り効果的な情報発信に取り組む必要がある。 ・市町村等と連携を図り、好事例の横展開等の情報共有を行うとともに、指導者のさらなる確保、資質向上を図る必要がある。 ・スポーツに関わる人のさらなる増加に向けて、引き続きより効果的な企画内容を検討する必要がある。	

4 総合評価

	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
総合評価	3.0	3.0				

第2次岡山県スポーツ推進計画（2025年改訂版） 2024年度施策評価シート

1 評価施策名

基本施策	I 多様な主体におけるライフステージに応じた運動・スポーツ活動の機会創出		
施策の方向性	多様な主体が参画できる生涯スポーツの推進によるスポーツ人口の拡大と生きがい・元気づくりの創出		
施策名	2 働く世代・子育て世代、高齢者の運動・スポーツ活動の推進	担当課室	環境文化部スポーツ振興課 おかやまマラソン事務局 保健医療部健康推進課 子ども・福祉部長寿社会課

2 課室施策評価

(1) 推進計画における数値目標

数値目標	指標名	成人男女の1週間に1日以上運動・スポーツをする割合	計画策定時	38.9%（2022年度）					
	指標の説明	・岡山県「県民満足度調査（附帯調査）」による。 ・「岡山県晴れの国おかやま生き生きプラン」の目標値（生き生き指標）であり、同プランの見直しがあった場合は、本計画の目標値も見直す。	目標値	55.0%（2028年度）					
			実績値	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
				37.1%	43.8%				

(2) 成果及び課題

成果	- 令和6年11月10日に開催した「おかやまマラソン2024」は、男女とも幅広い年代から参加いただき、大手ランニングサイトで全国第3位となるなど、ランナーの皆さまから大変高い評価をいただいた。 - 県内のスポーツイベントや研修会等の情報をまとめたポータルサイト「おかやまスポーツナビ」を通して、県民のスポーツ活動への参加を促進した。また、「おかやまスポーツナビ」について、利便性がより高まるよう改修した。
課題	- おかやまマラソンについては、引き続き多くの方に応募していただけるよう、更なる改善を重ね、大会の満足度向上を目指す。 - 県民のスポーツ活動をより一層促すために、ポータルサイト「おかやまスポーツナビ」に、県民ニーズに沿った情報を掲載するなど、効果的な情報発信に取り組む必要がある。

3 各課における評価

番号	部課名	事務事業の実施内容、成果・課題及び総合評価					
1	スポーツ振興課	事業内容	・全ての県民が、それぞれの体力や技術、興味、目的に応じて、運動・スポーツ活動に親しみ、楽しむことができる機会を創出する。（県民スポーツ推進事業、ライフステージに応じたスポーツ活動推進事業ほか）				
		成果・課題	【成果】 ・県内のスポーツイベントや研修会等の情報をまとめたポータルサイト「おかやまスポーツナビ」を通して、県民のスポーツ活動への参加を促進した。また、指導者人材バンク等のシステム改修を行い、利便性をより高めた。 ・ポータルサイト「おかやまスポーツナビ」のチラシを作成し、研修会や市町村教育委員会等へ配布して周知を図った。 【課題】 ・県民のスポーツ活動をより一層促すために、ポータルサイト「おかやまスポーツナビ」に、県民ニーズに沿った情報を掲載するなど、効果的な情報発信に取り組む必要がある。	評価	2023年度	3	
					2024年度	3	
					2025年度		
					2026年度		
					2027年度		
					2028年度		

2	スポーツ振興課（おかやまマラソン事務局）	事業内容	・ おかやまマラソンについて、大会の開催を通じて、県民の健康と体力の増進、地域の活力向上や一体感の醸成を図るとともに、本県の情報発信や、地域経済の活性化など地域振興にも繋げる。				
		成果・課題	【成果】 ・ おかやまマラソン2024では、「走る」「みる」「支える」人々が一体となり、地域に元気と感動をもたらす大会となった。 ・ フルマラソン定員15,000人に対し、23,765人応募 ・ ファンラン定員1,400人に対し、2,816人応募 ・ ボランティア5,253人 ・ 沿道応援130,000人 ・ 経済波及効果額19.5億円 【課題】 ・ 引き続き多くの方に参加していただけるよう、更なる改善を重ね、大会の満足度向上を目指す。	評価	2023年度	4	
					2024年度	4	
					2025年度		
					2026年度		
					2027年度		
					2028年度		

4	健康推進課	事業内容	・ 「地域・職域保健連携推進協議会」において、関係機関・団体と働き盛り世代の運動定着について協議する。 ・ 高齢者向けに作成した、フレイル予防のパンフレットを活用し、運動を含めた健康づくりの普及を図る。				
		成果・課題	【成果】 ・ 高齢者向けに作成したフレイル予防のパンフレットを、健康づくりボランティアが地域で活用し、身体活動の促進や運動習慣の定着について、普及啓発を図ることができた。 【課題】 ・ 壮年期、高齢期それぞれの世代にあった運動の種類や習慣の定着に向けた方法をさらに普及啓発していく必要がある。（健康づくりのための身体活動・運動ガイド2023の普及）	評価	2023年度	3	
					2024年度	3	
					2025年度		
					2026年度		
					2027年度		
					2028年度		

5	長寿社会課	事業内容	・ 全国健康福祉祭（ねんりんピック）への選手団の派遣 ・ 地域活動参加のための情報提供及び相談対応 ・ ニュースポーツの普及及び用具の貸出等				
		成果・課題	【成果】 ・ 全国健康福祉祭（ねんりんピック）へ県選手団を派遣することで、高齢者の健康の保持・増進、社会参加、生きがいの高揚等を図ることができた。（ねんりんピックはばたけ鳥取2024） ・ ニュースポーツの普及及び用具の貸出をすることで、高齢者の健康と生きがいがづくり、地域参加への一助となった。 【課題】 ・ 引き続き、全国健康福祉祭（ねんりんピック）への選手団の派遣にあたり、岡山県社会福祉協議会等と連携し、参加団体や実行委員会（事務局）等との調整を図るとともに、全国健康福祉祭（ねんりんピック）やニュースポーツ等の普及啓発を図り、さらなる地域参加を促進していく必要がある。	評価	2023年度	3	
					2024年度	3	
					2025年度		
					2026年度		
					2027年度		
					2028年度		

4 総合評価

	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
総合評価	3.3	3.3				

第2次岡山県スポーツ推進計画（2025年改訂版） 2024年度施策評価シート

1 評価施策名

基本施策	I 多様な主体におけるライフステージに応じた運動・スポーツ活動の機会創出		
施策の方向性	多様な主体が参画できる生涯スポーツの推進によるスポーツ人口の拡大と生きがい・元気づくりの創出		
施策名	3 学校における体育・スポーツ活動の充実 (1) 子どもの体力向上に向けた取組	担当課室	教育庁保健体育課

2 課室施策評価

(1) 推進計画における数値目標

数 値 目 標	指標名	1 週間の総運動時間数 60分未満の児童生徒数 の割合	計画策定時	小5 男子：9.5%、小5 女子：15.5% 中2 男子：7.6%、中2 女子：17.9% (いずれも2022年度)						
	指標の 説明	・スポーツ庁実施「全 国体力・運動能力、運 動習慣等調査」によ る。	目標値	小5 男子：4.3%、小5 女子：7.4% 中2 男子：3.7%、中2 女子：8.9% (いずれも2028年度)						
			実績値		2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
				小5 男子	9.1%	9.8%				
				小5 女子	16.4%	17.1%				
				中2 男子	12.2%	9.0%				
				中2 女子	25.7%	21.6%				

数 値 目 標	指標名	運動やスポーツをすることが好きな児童生徒数の割合	計画策定時	小5 男子：69.2%、小5 女子：53.1% 中2 男子：64.1%、中2 女子：47.8% (いずれも2022年度)						
	指標の説明	・スポーツ庁実施「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」による。	目標値	小5 男子：74.0%、小5 女子：56.0% 中2 男子：66.0%、中2 女子：47.0% (いずれも2028年度)						
			実績値		2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
				小5 男子	72.1%	72.5%				
				小5 女子	53.5%	54.7%				
				中2 男子	64.3%	67.7%				
				中2 女子	44.9%	45.9%				

数 値 目 標	指標名	新体力テストにおける 総合評価C以上の児童 生徒の割合	計画策定時	小5 男子：64.3%、小5 女子：69.9% 中2 男子：67.6%、中2 女子：81.7% (いずれも2022年度)						
	指標の 説明	・スポーツ庁実施「全 国体力・運動能力、運 動習慣等調査」によ る。	目標値	小5 男子：80%以上、小5 女子：80%以上 中2 男子：85%以上、中2 女子：85%以上 (いずれも2028年度)						
			実績値	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	
				小5 男子	65.6%	64.3%				
				小5 女子	70.7%	69.6%				
				中2 男子	67.3%	71.2%				
				中2 女子	80.7%	81.6%				

(2) 成果及び課題

成果	・令和6年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の新体力テストにおける体力合計点は、小5男女・中2男女で全国平均点を上回ることができた。 ・運動やスポーツが好きな児童生徒の育成につながる体育・保健体育授業等の実施に向けて、県教育庁保健体育課指導主事の派遣による研修支援（体育授業エキスパート派遣事業）を行い、児童生徒が運動やスポーツに主体的に取り組むことができるよう、教員の指導力向上を図った。 ・各体連や学体連等と連携し、各種研修会において新学習指導要領に対応した体育、保健体育の授業についての指導助言を行い、生涯にわたって心身の健康を保持増進し、豊かなスポーツライフが実現されるための資質・能力が育成されるよう指導内容や方法等の充実や改善を図った。
課題	・市町村教委や学校に対して、本県児童生徒の体力の状況と運動の習慣化や体力の向上につながる事業について、今後さらに周知する必要がある。 ・引き続き、小・中体連と連携しながら子どもの体力向上への取組を進める必要がある。 ・体育授業エキスパート派遣事業について、さらに多くの学校が活用するように市町村教委や学校に周知する必要がある。 ・学習指導要領に示されている「生涯にわたって運動に親しむ資質や能力」を育成するためには、体育、保健体育の授業のみならず、休み時間、放課後の過ごし方や運動部活動等も重要なことから、各体連とさらに連携を深め、望ましい生活習慣及び運動習慣の確立を図っていく必要がある。

3 各課における評価

番号	部課名	事務事業の実施内容、成果・課題及び総合評価				
1	保健体育課	事業内容	・「みんなでチャレンジランキング」「体力アップ・マイベストチャレンジ！」への参加呼びかけ ・「いきいき岡山っ子☆運動習慣カード」の作成および活用呼びかけ ・県教育庁保健体育課指導主事の派遣による研修支援 ・授業実践例等をホームページで紹介 ・小、中、高体連への指導助言 ・小、中、高体連が開催する各種スポーツ大会等の支援			
		成果・課題	【成果】 ・運動の習慣化、体力の向上を図る取組である、「みんなでチャレンジランキング」を積極的に推進したことにより、参加学校園数、参加人数ともに令和5年度と同じ水準であった。 参加校園数：172(183) 参加チーム数：1,398(1,419) 参加延べ人数：47,193(48,602) ※()はR5年度 ・児童自らが新体力テストにおける目標を設定し、記録更新に向けて挑戦する「体力アップ・マイベストチャレンジ！」を実施し、目標達成児童の割合はわずかに増えた。 参加学校数：60(65) 参加人数：5,909(6,502) 目標達成児童数：2,541(2,711) 目標達成児童割合：43(41) ※()はR5年度 ・学校や家庭での運動時間の増加を目的として、ビンゴカードの要素を取り入れた「いきいき岡山っ子☆運動習慣カード」を県内公立小学校へ配付するとともに、一定の条件を達成した児童に運動マスターバッジを贈呈することで、継続的かつ自発的に運動をしようとする意識を高めることができた。 活用校数：57(65) 参加児童数：6,455(10,126) バッジ配付児童数：3,265(4,592) 目標達成児童割合：50(45) ※()はR5年度 ・体育授業エキスパート派遣事業 活用回数8回（小：7、高：1回） 参加教員数91名（小：80、高：11名） 【課題】 ・市町村教委や学校に対して、本県児童生徒の体力の状況と運動の習慣化や体力の向上につながる事業の積極的な活用について、さらに周知する必要がある。 ・体育授業エキスパート派遣事業について、活用回数の更なる増加のため、市町村教委や学校に周知する必要がある。 ・学習指導要領に示されている「生涯にわたって運動に親しむ資質や能力」を育成するためには、体育、保健体育の授業のみならず、休み時間、放課後の過ごし方や運動部活動等も重要なことから、各体連等とさらに連携を深め、望ましい生活習慣及び運動習慣の確立を図っていく必要がある。			
			2023年度	3	評価	
			2024年度	3		
			2025年度			
			2026年度			
			2027年度			
			2028年度			

4 総合評価

総合評価	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
	3.0	3.0				

第2次岡山県スポーツ推進計画（2025年改訂版） 2024年度施策評価シート

1 評価施策名

基本施策	I 多様な主体におけるライフステージに応じた運動・スポーツ活動の機会創出		
施策の方向性	多様な主体が参画できる生涯スポーツの推進によるスポーツ人口の拡大と生きがい・元気づくりの創出		
施策名	3 学校における体育・スポーツ活動の充実 (2) 運動部活動改革の推進	担当課室	教育庁保健体育課

2 課室施策評価

(1) 推進計画における数値目標

数値目標	指標名	該当なし	計画策定時	
	指標の説明		目標値	
			実績値	

(2) 成果及び課題

成果	・「岡山県学校部活動の在り方に関する方針」の実施に際し、中高運動部活動担当者を対象とした研修会やモデル校による実践研究を行い、短時間に合理的でかつ効率的、効果的な科学的トレーニングの導入や生徒の主体的な取り組みを促す指導法等につながるよう周知を図った。 ・令和6年度に学校部活動指導資料を改訂し、県内全ての中・中等教育・高等学校及び特別支援学校に配付し、体罰・不適切な指導・ハラスメント等の根絶及び安全管理に対する対応等の周知を図った。
課題	・体罰・不適切な指導・ハラスメント等の根絶に向けた児童生徒への関わり方の周知徹底をさらに行う必要がある。 ・近年問題となる暑熱環境下での運動部活動について、実践的課題を踏まえた効果的な対策を県内に周知する必要がある。

3 各課における評価

番号	部課名	事務事業の実施内容、成果・課題及び総合評価						
1	保健体育課	事業内容	・運動部活動の在り方に関する検討 ・体罰や不適切な指導等の根絶や、医・科学的なトレーニングに基づく指導法及び安全管理などの研修会の実施					
		成果・課題	【成果】 ・令和5年3月に文化部も含めた「岡山県学校部活動の在り方に関する方針」を策定し、令和7年1月に、体罰・不適切な指導・ハラスメントを踏まえた指導を徹底するよう内容を追記した。また、その内容に基づいて「学校部活動指導資料」を改訂した。 ・体罰の根絶、セクハラ・パワハラをはじめとする不適切な指導の防止及び安全管理などの研修を10月(参加者数167名)に行った。 ・「合理的でかつ効率的・効果的な活動実践モデル校」として、県立水島工業高等学校が取り組み、一定の成果を得ることができた。	評価	2023年度	3		
			2024年度		3			
			2025年度					
			2026年度					
			2027年度					
			2028年度					
		【課題】 ・体罰や不適切な指導の根絶と、医・科学的なトレーニングに基づく適切な部活動が実施されるよう、徹底する必要がある。 ・近年問題となっている、暑熱環境下での運動部活動について、WBGTの値で活動判断することは当然のことながら、活動する際もより実践的な暑熱対策を効果的に講じる必要がある。						

4 総合評価

総合評価	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
	3.0	3.0				

第2次岡山県スポーツ推進計画（2025年改訂版） 2024年度施策評価シート

1 評価施策名

基本施策	Ⅰ 多様な主体におけるライフステージに応じた運動・スポーツ活動の機会創出		
施策の方向性	多様な主体が参画できる生涯スポーツの推進によるスポーツ人口の拡大と生きがい・元気づくりの創出		
施策名	4 障害のある人の運動・スポーツ活動の推進 （1）障害者スポーツへの理解と参加機会の確保	担当課室	子ども・福祉部障害福祉課

2 課室施策評価

（1）推進計画における数値目標

数値目標	指標名	障害者スポーツ・レクリエーション教室等の開催回数	計画策定時	年間26回（2021年度）					
	指標の説明	「第4期岡山県障害者計画」で設定	目標値	年間50回以上（2028年度）					
			実績値	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
				47回	49回				

（2）成果及び課題

成果	・岡山県障害者スポーツ大会（県大会）については、計9競技を実施し、個人競技604人、団体競技35人、公開競技10人、延べ649人の参加があった。 ・全国障害者スポーツ大会（全国大会）へは、個人競技（6競技）25人、団体競技（2競技）17人の選手の派遣を行った。 ・障害者スポーツ教室（教室）を17競技49回開催し、641人の参加があった。このうち、県北においても4競技4回行った。
課題	・障害者スポーツを通じて、障害のある人自身の社会参加を促進するとともに、障害のある人への理解を深める取組をより一層充実させ、共生社会の実現の一助となるよう取り組む必要がある。このため、今後県大会や教室事業の更なる充実により、事業参加者の増加に取り組むとともに、障害者スポーツの普及・啓発事業に取り組んでいく必要がある。

3 各課における評価

番号	部課名	事務事業の実施内容、成果・課題及び総合評価							
1	障害福祉課	事業内容	・「岡山県障害者スポーツ大会」の開催 ・「岡山県障害者スポーツ教室」の開催 ・「全国障害者スポーツ大会」及び団体競技地区大会への選手団の派遣						
			【成果】 ・岡山県障害者スポーツ大会（県大会）は、個人競技7競技、団体競技1競技、公開競技1競技、計9競技を県内各地で実施し、個人競技では604人、団体競技では35人、公開競技では10人、延べ649人の参加があった。 ・全国障害者スポーツ大会（全国大会）へは、個人競技（6競技）25人、団体競技（2競技）17人の選手の派遣を行った。 ・障害者スポーツ教室を17競技49回開催し、641人の参加があった。このうち、地域の障害のある人の便宜を図るため、県北での開催も4競技4回行った。 【課題】 ・障害者スポーツを通じて、障害のある人自身の社会参加を促進するとともに、障害のある人への理解を深める取組をより一層充実させ、共生社会の実現の一助となるよう取り組む必要がある。このため、今後県大会や教室事業の更なる充実により、事業参加者の増加に取り組むとともに、障害者スポーツの普及・啓発事業に取り組んでいく必要がある。						
		成果・課題	評価	2023年度	3				
				2024年度	3				
				2025年度					
				2026年度					
				2027年度					
				2028年度					

4 総合評価

総合評価	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
	3.0	3.0				

第2次岡山県スポーツ推進計画（2025年改訂版） 2024年度施策評価シート

1 評価施策名

基本施策	I 多様な主体におけるライフステージに応じた運動・スポーツ活動の機会創出		
施策の方向性	多様な主体が参画できる生涯スポーツの推進によるスポーツ人口の拡大と生きがい・元気づくりの創出		
施策名	4 障害のある人の運動・スポーツ活動の推進 (2) 障害者スポーツの指導者の養成やボランティアの参加推進	担当課室	子ども・福祉部障害福祉課

2 課室施策評価

(1) 推進計画における数値目標

数値目標	指標名	設定なし	計画策定時	
	指標の説明		目標値	
			実績値	

(2) 成果及び課題

成果	- 岡山県パラスポーツ指導員（初級）養成講習会を延べ4日間開催し、11人が受講した。 - ボランティア活動について、「第24回岡山県障害者スポーツ大会」では、学生ボランティア250人、係員ボランティア54人の参加があった。
課題	指導員の養成講習会について、毎年受講者数にばらつきがあるため、県障害者スポーツ協会やパラスポーツ指導者協議会等とも連携し、受講者募集の方法について検討する必要がある。

3 各課における評価

番号	部課名	事務事業の実施内容、成果・課題及び総合評価				
1	障害福祉課	事業内容	- 岡山県パラスポーツ指導員（初級）養成講習会の開催 - パラスポーツ指導者養成講習会等への派遣			
		成果・課題	【成果】 - 岡山県障害者スポーツ指導員（初級）養成講習会を延べ4日間開催し、11人が受講した。 - ボランティア活動について、「第24回岡山県障害者スポーツ大会」では、学生ボランティア250人、係員ボランティア54人の参加があった。 【課題】 - 指導員の養成講習会について、毎年受講者数にばらつきがあるため、県障害者スポーツ協会やパラスポーツ指導者協議会等とも連携し、受講者募集の方法について検討する必要がある。	評価	2023年度	3
					2024年度	3
					2025年度	
					2026年度	
					2027年度	
					2028年度	

4 総合評価

	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
総合評価	3.0	3.0				

第2次岡山県スポーツ推進計画（2025年改訂版） 2024年度施策評価シート

1 評価施策名

基本施策	Ⅱ アスリートの育成と持続可能な指導・支援システムの構築		
施策の方向性	競技スポーツの推進によるチーム岡山競技力の向上		
施策名	1 アスリートの育成・強化	担当課室	環境文化部スポーツ振興課

2 課室施策評価

（1）推進計画における数値目標

数値目標	指標名	国民スポーツ大会における天皇杯順位	計画策定時	16位（2022年）					
			目標値	10位台（2028年度）					
	指標の説明	本県人口規模からは高い目標だが、恒常的に全国上位の競技力を維持することを目指して設定している。	実績値	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
				20位	15位				

数値目標	指標名	世界大会の出場者数	計画策定時	13人（2018年～2021年（2020年を除く）の平均）					
			目標値	15人（2028年度）					
	指標の説明	岡山県ゆかりの選手がオリンピック・パラリンピック、最も権威ある世界大会に出場した人数の過去5年間の平均を勘案して設定。対象となる世界大会が隔年や4年ごとの開催となる競技もあるため、目標は3年間の平均とする。	実績値	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
				14人	15人				

（2）成果及び課題

成果	・競技団体ごとに、トップレベルの選手を系統的に育成・強化しており、国スポ正式競技37種目中34競技に591名の選手を派遣し、目標の10位台となった。 ・各競技団体ともに、年代ごとに競技力強化に向けた対策を講じており、8競技団体11種目が競技体験会を実施し、4競技団体が中学生の競技力向上の事業を活用した。 ・オリンピックへの出場を目指すアスリートを対象に、岡山県にゆかりがある28名を強化指定選手とし、強化合宿や国際大会への参加等に要する費用の一部を補助する支援に取り組み、3名の強化指定選手がパリオリンピックの出場権を獲得した。
課題	・競技力強化に向けての事業が定着して効果的に進めることができていることから、各競技の指導者に専門的な知識を継続的に習得する機会を提供することが必要である。 ・国スポ大会のブロック予選の突破率や、少年の成績は低下傾向にあることや、学校部活動の地域展開や少子化の進行に伴い、子どもが様々なスポーツに触れる機会が減少しつつあり、競技力の鈍化も懸念されることから、ジュニア期のスポーツプログラムの検討等が必要である。 ・今後の競技の普及・育成に競技団体等との更なる連携が不可欠である

3 各課における評価

番号	部課名	事務事業の実施内容、成果・課題及び総合評価				
1	スポーツ振興課	事業内容	・恒常的に全国上位の競技力を維持するために、ジュニア年代からの一貫指導体制の中で、系統的・継続的強化に取り組む必要があるため、各競技の年代ごとの県内トップレベルの選手を系統的に育成し、成年までつなげる競技力の向上を図る。(ジュニア選手育成・強化事業、国スポ成年選手強化事業) ・競技体験会を実施し、選手発掘の機会を提供するとともに、各競技団体から選抜された中学生に対し、各学年の競技レベルや発育・発達段階に応じた最適なプログラムを提供する。(つくろう・のぼそう！スポーツプロジェクト事業、おかやま次世代アスリート事業) ・オリンピックへの出場を目指すアスリートを対象に、強化合宿や国際大会への参加等に要する費用の一部を補助する。(岡山から世界へ！オリンピック・パラリンピアン育成事業)			
			成果・課題	【成果】 ・競技団体ごとに、トップレベルの選手を系統的に育成・強化しており、国スポ正式競技37種目中34競技に591名の選手を派遣し、ライフル射撃、自転車、バレーボール、馬術、ボウリングの5競技での優勝を含め、28競技で入賞、全入賞数は78であり、目標の10位台となった。 ・各競技団体とともに、年代ごとに競技力強化に向けた対策を講じており、8競技団体11種目が競技体験会を実施し、4競技団体が中学生の競技力向上の事業を活用した。 ・オリンピック出場を目指す28名を強化指定選手とし、3名の強化指定選手がパリオリンピックの出場権を獲得した。 【課題】 ・競技力強化に向けての事業が定着して効果的に進めることができていることから、各競技の指導者に専門的な知識を継続的に習得する機会を提供することが必要である。 ・国スポ大会のブロック予選の突破率や、少年の成績は低下傾向にあることや、学校部活動の地域展開や少子化の進行に伴い、子どもが様々なスポーツに触れる機会が減少しつつあり、競技力の鈍化も懸念されることから、ジュニア期のスポーツプログラムの検討等が必要である。 ・今後の競技の普及・育成に競技団体等との更なる連携が不可欠である。	評価	2023年度
		2024年度				3
		2025年度				
		2026年度				
		2027年度				
		2028年度				

4 総合評価

総合評価	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
	3.0	3.0				

第2次岡山県スポーツ推進計画（2025年改訂版） 2024年度施策評価シート

1 評価施策名

基本施策	Ⅱ アスリートの育成と持続可能な指導・支援システムの構築		
施策の方向性	競技スポーツの推進によるチーム岡山競技力の向上		
施策名	2 アスリート育成パスウェイの構築	担当課室	環境文化部スポーツ振興課

2 課室施策評価

(1) 推進計画における数値目標

数値目標	指標名	「岡山県アスリート就職支援事業」による県内就職内定者	計画策定時	4人（2021年度）					
	指標の説明	過去5年間（H29～R3）の内定者平均（3人）を勘案して設定	目標値	5人（2028年度）					
			実績値	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
				4人	3人				

(2) 成果及び課題

成果	・第78回国スポにおける入賞数は、少年男子19、少年女子10であった。中でも、バレーボールが優勝したほか、ローイング、ソフトテニス、体操（新体操）、レスリング、馬術、陸上競技、水泳（競泳）、テニス、卓球の全10種目において3位以内の成績を収めた。 ・チャレンジザトップ！事業において国内トップ水準のチーム、指導者を招聘し、県内競技レベルの向上を図ることができた。 ・レッツ チャレンジ！競技体験事業やスポーツ活動奨励事業、おかやま次世代アスリート事業において、専門的な指導者による競技体験や指導を受けることができ、競技に対する興味関心が高まった。 ・3名のアスリートの就職者を確保し、成果を上げることができた。 ・学生アスリートを対象に研修会を開催し、デュアルキャリアについての啓発を行った。
課題	・競技力の強化体制が維持できている競技がある反面、普及・強化や競技者の確保に窮している競技もあるため、より効果的な内容になるよう改善を図ることが不可欠である。 ・アスリート就職支援事業では、更なる協力企業の開拓やアスリート就職支援に繋がるような、より効果的な研修等の検討が必要である。

3 各課における評価

番号	部課名	事務事業の実施内容、成果・課題及び総合評価				
1	スポーツ振興課	事業内容	・各競技団体から選抜された中学生に対し、各学年の競技レベルや発育・発達段階に応じた最適なプログラムを提供する。(マルチサポートプログラム事業) ・中学生年代における国内トップ水準のチーム、指導者を招聘し、合同練習や試合を行う。(チャレンジ ザ トップ! 事業) ・それぞれの競技特性に応じて小学生、中学生又は高校生を対象に競技体験の機会を提供し、各競技団体の選手発掘につなげる。(レッツ チャレンジ! 競技体験事業ほか) ・小学生を対象に専門的な実技指導を受ける機会を提供する。(スポーツ活動奨励事業) ・県が主導して、競技普及に弱している複数の競技団体と共同で体験会を実施する。(おかやま次世代アスリート事業) ・ジュニア期から岡山で育成され、県内外で活躍している心身ともに優れたアスリートの就職を促進することで、継続的に優秀な人材を確保し、競技スポーツを推進する。(アスリート就職支援事業)			
		成果・課題	【成果】 ・マルチサポートプログラム事業では、3競技団体が選抜された中学生の選手にトップレベルの競技者に必要な能力を引き伸ばすためのトレーニングを行った。 ・チャレンジ ザ トップ! 事業では、ソフトテニス競技で実施したところ、全国トップレベルの指導力を持つ監督による指導を受け、選手のモチベーション向上やスキルアップ、指導者の研修に繋がった。 ・レッツ チャレンジ! 競技体験事業やスポーツ活動奨励事業では、専門の指導者による競技体験や指導を受けることができ、競技に対する興味関心が高まった。 ・おかやま次世代アスリート事業では、普段なかなか触れることのできない競技である、スケート(ショートトラック・フィギュア)、アイスホッケー、フェンシング、スポーツクライミングの4競技団体5種目合同の体験会を競技団体指導者の専門的指導のもと、各1回実施したところ、約60名の小学生が体験した。 ・アスリート就職支援事業を活用した者のうち、3名が就職内定を確保し、成果を上げることができた。 【課題】 ・競技力の強化体制が維持できている競技団体がある反面、普及・強化や競技者の確保に窮している競技団体もあるため、より効果的な内容になるよう改善を図ることが不可欠である。 ・アスリート就職支援事業では、更なる協力企業の開拓やアスリート就職支援に繋がるような、より効果的な研修等の検討が必要である。			
			2023年度	3	評価	
			2024年度	3		
			2025年度			
			2026年度			
			2027年度			
			2028年度			

4 総合評価

総合評価	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
	3.0	3.0				

第2次岡山県スポーツ推進計画（2025年改訂版） 2024年度施策評価シート

1 評価施策名

基本施策	Ⅱ アスリートの育成と持続可能な指導・支援システムの構築		
施策の方向性	競技スポーツの推進によるチーム岡山競技力の向上		
施策名	3 指導者の育成・資質向上	担当課室	環境文化部スポーツ振興課

2 課室施策評価

(1) 推進計画における数値目標

数値目標	指標名	日本スポーツ協会公認スポーツ指導者登録者数	計画策定時	3,206人（2022年度）					
	指標の説明	毎年度、50人程度の登録者増を目指すこととする。 （1.1倍程度の増）	目標値	3,600人（2028年度）					
			実績値	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
				3,486	4,012				

(2) 成果及び課題

成果	・次世代の指導者を育成し、一貫指導体制を引き継いでいくために、指導者育成制度等への参加を促すことで、コーチとしてのあり方を再認識するなど、指導者としての基礎となる知識や各競技の専門的知識を継続的に習得することができた。
課題	・指導者の高齢化や減少が進み、次世代を担う若手・中堅指導者の育成が急務となっている競技団体が増えている。 ・指導者に求められる基礎的な資質能力の継続的な向上が課題である。 ・次世代の指導者を育成し、一貫指導体制を引き継いでいくことが求められる。

3 各課における評価

番号	部課名	事務事業の実施内容、成果・課題及び総合評価								
1	スポーツ振興課	事業内容	・県内の指導者に対して指導者としての基礎となる知識や、各競技の専門的知識を継続的に習得する機会を提供する。(スポーツ指導者レベルアップ事業) ・アスリートの就職支援を実施し、将来の指導者としても期待できる若手人材の確保に取り組む。(アスリート就職支援事業)							
		成果・課題	【成果】 ・6競技から9名の推薦があり、7名がコーチ資格講習会を受講した。また、2名が指導場面研修に参加し、指導者が学び続ける大切さを再認識し、専門知識を継続的に習得する機会となっている。 ・アスリート就職支援事業を活用した者のうち、3名が就職内定した。(再掲)					評価	2023年度	3
									2024年度	4
									2025年度	
									2026年度	
									2027年度	
									2028年度	
【課題】 ・指導者の高齢化や減少が進み、次世代を担う若手・中堅指導者の育成が急務となっている競技団体が増えている。 ・指導者に求められる基礎的な資質能力の継続的な向上が課題である。 ・次世代の指導者を育成し、一貫指導体制を引き継いでいくことが求められる。										

4 総合評価

総合評価	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
	3.0	4.0				

第2次岡山県スポーツ推進計画（2025年改訂版） 2024年度施策評価シート

1 評価施策名

基本施策	Ⅱ アスリートの育成と持続可能な指導・支援システムの構築		
施策の方向性	競技スポーツの推進によるチーム岡山競技力の向上		
施策名	4 障害者アスリートの育成と支援体制の構築	担当課室	環境文化部スポーツ振興課

2 課室施策評価

（1）推進計画における数値目標

数値目標	指標名	設定なし	計画策定時	
	指標の説明		目標値	
			実績値	

（2）成果及び課題

成果	・パラリンピック・デフリンピックへの出場を目指す、岡山県にゆかりがある障害者アスリート5名を強化指定選手とし、強化合宿や国際大会への参加等に要する費用の一部を補助する支援に取り組んだところ、2名の強化指定選手がパリパラリンピックに出場することができた。
課題	・障害の特性に応じた専門的な指導を受けることができるよう支援する必要がある。

3 各課における評価

番号		部課名		事務事業の実施内容、成果・課題及び総合評価					
1	スポーツ振興課	事業内容	・パラリンピック・デフリンピックへの出場を目指す、岡山県にゆかりがある障害者アスリートを対象に、年度ごとに強化指定選手を選定し、強化合宿や国際大会への参加等に要する費用の一部を補助する。（岡山から世界へ！オリンピック・パラリンピアン育成事業）						
		成果・課題	【成果】 ・パラリンピック・デフリンピック出場を目指す5名を強化指定選手とし、2名の強化指定選手がパリパラリンピックに出場することができた。 【課題】 ・障害の特性に応じた専門的な指導を受けることができるよう支援する必要がある。	評価	2023年度	3			
					2024年度	3			
					2025年度				
					2026年度				
					2027年度				
					2028年度				

4 総合評価

総合評価	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
	3.0	3.0				

第2次岡山県スポーツ推進計画（2025年改訂版） 2024年度施策評価シート

1 評価施策名

基本施策	Ⅱ アスリートの育成と持続可能な指導・支援システムの構築		
施策の方向性	競技スポーツの推進によるチーム岡山競技力の向上		
施策名	5 アスリートの安全・安心の確保	担当課室	環境文化部スポーツ振興課

2 課室施策評価

(1) 推進計画における数値目標

数値目標	指標名	設定なし	計画策定時	
	指標の説明		目標値	
			実績値	

(2) 成果及び課題

成果	・アスレティックトレーナー等を競技会や練習会等へ派遣し、選手の故障を予防するとともに、選手のパフォーマンスの向上に必要な医科学サポートを行った。
課題	・アスリートに対して県と県スポーツ協会医・科学委員会とで一体となり、更なる医・科学サポート体制が確立できるよう研究を重ねる必要がある。

3 各課における評価

番号	部課名	事務事業の実施内容、成果・課題及び総合評価					
1	スポーツ振興課	事業内容	・アスレティックトレーナー等を競技会や練習会等へ派遣し、選手の故障を予防するとともに、選手のパフォーマンスの向上に必要なコンディショニング指導や医・科学サポートを行う。（おかやま次世代アスリート事業）				
		成果・課題	【成果】 ・全国大会等に出場するアスリートを対象に、1 競技35名に体力的サポート、2 競技延べ44名に心理的サポート、4 競技893名に栄養サポート、9 競技延べ360名にスポーツファーマシスト連携を行った。 ・18競技の全国大会等に、スポーツ医科学の知識を持ったトレーナーを派遣した。 【課題】 ・アスリートに対して県と県スポーツ協会医・科学委員会とで一体となり、更なる医・科学サポート体制が確立できるよう研究を重ねる必要がある。	評価	2023年度	3	
					2024年度	3	
					2025年度		
					2026年度		
					2027年度		
					2028年度		

4 総合評価

	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
総合評価	3.0	3.0				

第2次岡山県スポーツ推進計画（2025年改訂版） 2024年度施策評価シート

1 評価施策名

基本施策	Ⅲ スポーツを通じたともに生き豊かさが実感できる地域の創造				
施策の方向性	東京オリンピック・パラリンピック「スポーツ・レガシー」の継承及び共生社会の実現と地域の活性化				
施策名	1 地域と連携した運動・スポーツ活動の推進による共生社会の実現	担当課室	環境文化部スポーツ振興課		

2 課室施策評価

（1）推進計画における数値目標

数値目標	指標名	地域課題に応える取組の推進として学校との連携を行っている総合型地域スポーツクラブの割合	計画策定時	34.3%（2021年度）					
	指標の説明	スポーツ庁が実施する「総合型地域スポーツクラブに関する実態調査」による全国（R3：46.2%）と本県（R3：34.3%）の割合をもとに数値目標を設定	目標値	50.0%（2028年度）					
			実績値	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
				51.7%	48.4%				

数値目標	指標名	「普段の生活の中で芸術・文化、スポーツ等を実践したり、観て楽しめる地域になっている」と感じている人の割合	計画策定時	28.2%（2022年度）					
	指標の説明	岡山県「県民満足度調査（附帯調査）」において、「普段の生活の中で芸術・文化、スポーツ等を実践したり、観て楽しめる地域になっている」と感じている人の割合について、38.0%を達成することを目指す。	目標値	38.0%（2028年度）					
			実績値	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
				31.0%	30.6%				

数値目標	指標名	県内で行われたスポーツ大会やスポーツの試合を観戦した人の割合	計画策定時	21.7%（2023年度）					
	指標の説明	岡山県「県民満足度調査（附帯調査）」において、県内で行われたスポーツ大会等を観戦した人の割合について、25%を達成することを目指す。 ※2025年改訂版により、目標値が新たに設定されたものである。	目標値	25.0%（2028年度）					
			実績値	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
				—	23.6%				

（2）成果及び課題

成果	・市町村に、総合型地域スポーツクラブの設立を働きかけるとともに、総合型地域スポーツクラブ等を活用した事業等の情報提供を行った。 ・県スポーツ協会を通じて、総合型地域スポーツクラブに対し、学校部活動との連携を働きかけた。
課題	・自治体によっては、既存の組織で住民のスポーツ活動を推進している場合があり、総合型地域スポーツクラブの認知度が低いところもあるため、引き続き、市町村と連携し、地域クラブ活動を実施する団体等に総合型地域スポーツクラブを活用するための情報を提供する必要がある。

3 各課における評価

番号	部課名	事務事業の実施内容、成果・課題及び総合評価					
1	スポーツ振興課	事業内容	・市町村等に総合型地域スポーツクラブの設立を働きかけるとともに、岡山県スポーツ協会と連携して、総合型地域スポーツクラブの登録・認証制度の導入促進など質的充実を図る。また、岡山県スポーツ協会に委託し、広域スポーツセンター業務を担うスタッフを設置する。(県民スポーツ推進事業)				
		成果・課題	【成果】 ・市町村に、総合型地域スポーツクラブの設立を働きかけるとともに、地域移行を見据え、総合型クラブ等を活用した地域クラブ活動の在り方に向けた情報提供を行った。 ・県スポーツ協会を通じて、総合型地域スポーツクラブに対し、学校部活動との連携を働きかけた。 【課題】 ・自治体によっては、既存の組織で住民のスポーツ活動を推進している場合があり、総合型地域スポーツクラブの認知度が低いところもあるため、引き続き、市町村と連携し、地域クラブ活動を実施する団体等に総合型地域スポーツクラブを活用するための情報を提供が必要がある。 ・引き続き、登録・認証制度の導入に向けて県スポーツ協会と連携を図る必要がある。	評価	2023年度	3	
					2024年度	3	
					2025年度		
					2026年度		
					2027年度		
					2028年度		

4 総合評価

	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
総合評価	3.0	3.0				

第2次岡山県スポーツ推進計画（2025年改訂版） 2024年度施策評価シート

1 評価施策名

基本施策	Ⅲ スポーツを通じたともに生き豊かさが実感できる地域の創造		
施策の方向性	東京オリンピック・パラリンピック「スポーツ・レガシー」の継承及び共生社会の実現と地域の活性化		
施策名	2 大規模スポーツイベント、合宿等を通じた地域活性化	担当課室	環境文化部スポーツ振興課 おかやまマラソン事務局 土木部都市局都市計画課

2 課室施策評価

(1) 推進計画における数値目標

数値目標	指標名	国際スポーツイベント等誘致件数	計画策定時	2件（2022年度見込）					
	指標の説明	毎年度2件以上の誘致を目指すこととする。	目標値	2件以上（2028年度）					
			実績値	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
				3件	3件				

(2) 成果及び課題

成果	・おかやまマラソン2024では、全国各地から参加した16,700人のランナー、大会を支えた5,000人のボランティア、13万人もの応援者など、「走る」「みる」「支える」人々が一体となり、大きな盛り上がりとなった。 ・マスカットスタジアムにおいて、プロ野球公式戦1試合、プロ野球ウエスタン・リーグ公式戦1試合、オープン戦2試合が開催された。 ・全国規模のスポーツ大会の開催を支援し、競技人口の拡大のほか、地域の活性化・情報発信を図った。 ・地域資源を生かした環境スポーツイベントである「岡山 備前 SEA TO SUMMIT2024」が開催された。
課題	・様々なスポーツイベントへの誘客促進を図るとともに、イベントをどのように地域活性化につなげていくか、方法等を検討し、取り組む必要がある。 ・おかやまマラソンについては、引き続き多くの方に参加していただけるよう、更なる改善を重ね、大会の満足度向上を目指す。 ・少子化の進行や、学校部活動の地域展開、国民スポーツ大会の少年成績等を踏まえ、児童生徒を中心とした競技人口の拡大や、地域クラブ活動の充実に資する施策を一層進める必要がある。

3 各課における評価

番号	部課名	事務事業の実施内容、成果・課題及び総合評価					
1	スポーツ振興課	事業内容	・国際スポーツイベント・全国規模のスポーツ大会の県内誘致を促進し、トップアスリートの活躍に触れる機会を提供することで、競技人口の拡大のほか、地域の活性化・情報発信を図るため、大会経費の一部を補助して開催を支援する。（Catch the Dream・スポーツ大会誘致事業） ・海、湖、里、山といった地域資源を生かした環境スポーツイベントである「SEA TO SUMMIT」を備前市において開催し、スポーツ活動への参加機会を提供することでスポーツ活動人口の増加を図るとともに、地域の魅力を発信することでイベントへの参加をきっかけとしたスポーツツーリストのリピーター化を促進し、地域の活性化およびスポーツツーリズム推進を図る。				
			成果・課題	【成果】 ・全国規模のスポーツ大会の開催を支援し、競技人口の拡大のほか、地域の活性化・情報発信を図った。（R6年度：2件） ・「岡山 備前 SEA TO SUMMIT2024」については、154名（前年度比で14人増）が参加した。 【課題】 ・少子化の進行や、学校部活動の地域展開、国民スポーツ大会の少年成績等を踏まえ、児童生徒を中心とした競技人口の拡大や、地域クラブ活動の充実に資する施策を一層進める必要がある。 ・「SEA TO SUMMIT」の継続のため、引き続き、主体となる市町村を支援する必要がある。	評価	2023年度	3
		2024年度				3	
		2025年度					
		2026年度					
		2027年度					
		2028年度					

2	スポーツ振興課（おかやまマラソン事務局）	事業内容	・岡山市をはじめ関係団体との連携のもとで、中四国最大規模の都市型マラソン大会を開催し、大会の開催を通じて、県民の健康と体力の増進、地域の活力向上や一体感の醸成を図るとともに、本県の情報発信や、地域経済の活性化など地域振興にも繋げる。 ・前回大会での運営面の改善を図りながら、参加者アンケートでの意見等も参考に更なるランナーサービスの向上にも取り組む。				
		成果・課題	【成果】 ・おかやまマラソン2024では、「走る」「みる」「支える」人々が一体となり、地域に元気と感動をもたらす大会となった。 ・フルマラソン定員15,000人に対し、23,765人応募 ・ファンラン定員1,400人に対し、2,816人応募 ・ボランティア5,253人 ・沿道応援130,000人 ・経済波及効果額19.5億円 【課題】 ・引き続き多くの方に参加していただけるよう、更なる改善を重ね、大会の満足度向上を目指す。	評価	2023年度	4	
					2024年度	4	
					2025年度		
					2026年度		
					2027年度		
					2028年度		
3	都市計画課	事業内容	・マスカットスタジアムにプロ野球を誘致するため、「岡山にプロ野球を誘致する会」を中心に誘致活動を行う。 ・プロ野球開催時に球場周辺の賑わいづくりを実施する。				
		成果・課題	【成果】 ・プロ野球公式戦1試合、プロ野球ウエスタン・リーグ公式戦1試合、オープン戦2試合が開催された。 ・プロ野球オープン戦開催時に、畜産加工品等のPRを行い、球場周辺の賑わいづくりを行った。 【課題】 ・プロ野球の試合数が少ない状況が続いているため、より多く試合が開催されるよう各プロ野球球団に対して働きかけを行う必要がある。 ・楽天の秋季キャンプについて、令和2年度以降実施されていないので、再び実施してもらえるよう楽天に対して働きかけを行う必要がある。	評価	2023年度	3	
					2024年度	3	
					2025年度		
					2026年度		
					2027年度		
					2028年度		

4 総合評価

	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
総合評価	3.3	3.3				

第2次岡山県スポーツ推進計画（2025年改訂版） 2024年度施策評価シート

1 評価施策名

基本施策	Ⅲ スポーツを通じたともに生き豊かさが実感できる地域の創造		
施策の方向性	東京オリンピック・パラリンピック「スポーツ・レガシー」の継承及び共生社会の実現と地域の活性化		
施策名	3 トップクラブチームを核とした地域活性化	担当課室	環境文化部スポーツ振興課

2 課室施策評価

（1）推進計画における数値目標

数値目標	指標名	トップクラブチームのホームゲームにおける観客動員数	計画策定時	111千人（2021年度）					
	指標の説明	ファジアーノ岡山、岡山シーガルズ、岡山湯郷ベル、吉備国際大学シャルム岡山高梁、岡山リベッツ、トライフーズ岡山、倉敷アブレイズのホームゲームにおける観客動員数（新型コロナウイルス感染症の影響を受ける前の水準（243千人）の1.1倍程度とする。） ※倉敷アブレイズ：2024年度実績からの集計である。	目標値	267千人（2028年度）					
			実績値	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
				248	264				

（2）成果及び課題

成果	・トップクラブチームのホームゲームで実施する「県民応援デー」において、県全体で一体的に応援する気運の醸成を図った。 ・「PRIDE OF 中四国」を実施し、中四国関係県との交流を深めるとともに、岡山の観光情報の発信や、アウェイサポーターに向けた岡山への誘客促進を図った。 ・「晴れの国トップアスリート派遣事業」により、県内のトップアスリート等を、市町村や地域スポーツクラブ、スポーツ少年団、学校等へ派遣し、参加者に技術指導を行うなどトップアスリートとの交流の機会の提供し、競技力の向上と地域スポーツの振興を行った。
課題	・より多くの県民の観戦の機会となるよう、イベント内容の充実や広報に取り組む必要がある。 ・トップクラブチームのホームゲームやアウェイゲームを活用したイベントについて、相手チームやその関係自治体と連携を図るなどの工夫を行い、さらなる誘客を促進する必要がある。

3 各課における評価

番号	部課名	事務事業の実施内容、成果・課題及び総合評価						
1	スポーツ振興課	事業内容	・ トップクラブチームのホームゲームにおいて、応援イベント「県民応援デー」等を実施し、スポーツ活動に取り組む人たちやファン・サポーター等の拡大、県全体で応援する気運の醸成を図る。 ・ ファジアーノ岡山と中四国のJ2チームとの試合において、「PRIDE OF 中四国」を実施し、関係機関と連携し、岡山の情報発信を広く行うとともに、アウェイサポーターの誘客の促進など県域を越えた交流や観光・物産による地域の活性化を図る。 ・ 県内のトップアスリート等を、市町村や地域スポーツクラブ、スポーツ少年団、学校等へ派遣し、競技力の向上と地域スポーツの振興を図る。(晴れの国トップアスリート派遣事業)					
			成果・課題	評価	2023年度	3		
		2024年度			3			
		2025年度						
		2026年度						
		2027年度						
		2028年度						

4 総合評価

総合評価	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
	3.0	3.0				

第2次岡山県スポーツ推進計画（2025年改訂版） 2024年度施策評価シート

1 評価施策名

基本施策	Ⅲ スポーツを通じたともに生き豊かさが実感できる地域の創造		
施策の方向性	東京オリンピック・パラリンピック「スポーツ・レガシー」の継承及び共生社会の実現と地域の活性化		
施策名	4 第79回国民スポーツ大会冬季大会の開催	担当課室	国民スポーツ大会推進室 (スポーツ振興課)

2 課室施策評価

(1) 推進計画における数値目標

数値目標	指標名	設定なし	計画策定時	
	指標の説明		目標値	
			実績値	

(2) 成果及び課題

成果	- 岡山市、倉敷市等と合同実行委員会を組織し、大会の開催準備から大会運営まで滞りなく行った。 - 本県での開催競技に係る県内選手の育成・強化を図った。 - 冬季大会の開催にあたり、スケート子ども体験教室を県内各地で実施するなど、県民を挙げて盛り上げる機運の醸成を図るとともに、冬季スポーツの普及・振興につなげた。
課題	

3 各課における評価

番号	部課名	事務事業の実施内容、成果・課題及び総合評価				
1	国民スポーツ大会推進室 (スポーツ振興課)	事業内容	・競技会の開催市となる岡山市、倉敷市等とともに合同実行委員会を組織し、関係団体等と協力しながら開催準備を進め、西日本で初めて開催される大会として、円滑な大会運営を目指し、今後の冬季大会の全国展開に向けた先鞭をつける大会とする。また、全国各地から訪れる選手団及び関係者をおもてなしと感謝の心を持って歓迎し、岡山の魅力発信や地域の活性化につなげる。(大会開催事業) ・大会を契機として、冬季スポーツに係る本県選手の練習機会の確保、遠征や指導者の招へい等に要する経費について競技団体に対し補助を行うことにより、本県の競技力強化を図る。(競技力強化事業) ・県民を挙げて大会を盛り上げる機運を醸成するため、県民が冬季スポーツに親しむ機会を創出し、その魅力をPRすることにより、冬季スポーツの振興を図る。(冬季スポーツ・OKA YAMA応援事業)			
			成果・課題	【成果】 ・岡山市、倉敷市等と合同実行委員会を組織し、大会の開催準備から大会運営まで滞りなく行った。 ・地元ゆかりの著名人の協力を得ながら広報活動を展開して開催機運を醸成した上で大会を開催し、大会を通じて県内外の参加者に対して、本県の魅力発信に努めた。 ・本県での開催競技に係る県内選手の競技力強化を図った。 ・大会を盛り上げる機運を醸成するため、小学生を対象としたスケート体験教室を県内各地（岡山市、倉敷市、津山市）で開催し、冬季スポーツに親しむ機会を創出し、その魅力をPRすることにより、冬季スポーツの普及・振興につなげた。 令和4年度 … 6回・225名 令和5年度 … 5回・195名 令和6年度 … 7回・270名	評価	2023年度
		2024年度				3
		2025年度				
		2026年度				
		2027年度				
		2028年度				

4 総合評価

総合評価	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
	3.0	3.0				

第2次岡山県スポーツ推進計画（2025年改訂版） 2024年度施策評価シート

1 評価施策名

基本施策	IV スポーツ環境の整備		
施策の方向性	「ハード」「ソフト」「人材」の充実		
施策名	1 指導者・ボランティアなど多様な人材の育成、活躍の場の創出	担当課室	環境文化部スポーツ振興課 おかやまマラソン事務局 子ども・福祉部障害福祉課

2 課室施策評価

(1) 推進計画における数値目標

数値目標	指標名	設定なし	計画策定時	
	指標の説明		目標値	
			実績値	

(2) 成果及び課題

成果	・スポーツ推進委員協議会における情報交換や研修活動を通じて、市町村でのスポーツ活動の活性化を促進した。 ・指導者となり得る方を対象に、資質向上のための研修会を開催するとともに、研修会において、人材バンクへの登録について働きかけるなど、指導者の確保を図った。 ・おかやまマラソンにおいて、県民にスポーツボランティアへの関心を持ってもらうため、大会運営を支えるボランティアを個人はもとより、企業、地域団体、学校等から広く募集するとともに、ボランティア研修会等を通じてボランティアリーダーの育成を行った。 ・岡山県パラスポーツ指導員（初級）養成講習会を延べ4日間開催し、11人が受講した。 ・ボランティア活動について、「第24回岡山県障害者スポーツ大会」では、学生ボランティア250人、係員ボランティア54人の参加があった。
課題	・市町村等と連携を図り、好事例の横展開等の情報共有を行うとともに、指導者のさらなる確保、資質向上を図る必要がある。 ・地域スポーツ活動の推進のため、総合型地域スポーツクラブとスポーツ推進委員等との連携を図る必要がある。 ・おかやまマラソンのみならず、より幅広くスポーツボランティアについて周知するため、より効果的なPR手法を検討する必要がある。 ・指導員の養成講習会について、毎年受講者数にばらつきがあるため、県障害者スポーツ協会やパラスポーツ指導者協議会等とも連携し、受講者募集の方法について検討する必要がある。

3 各課における評価

番号	部課名	事務事業の実施内容、成果・課題及び総合評価					
1	スポーツ振興課	事業内容	・スポーツ推進委員の活動を活性化し、地域スポーツの推進を図る。(岡山県生涯スポーツ研究大会) ・スポーツ活動の指導者について、ポータルサイト「おかやまスポーツナビ」への登録を促進し、指導者等に研修会情報を提供する。 ・市町村、関係団体等を対象に合同連絡会を開催し、情報共有を図るとともに、研修会を開催し、指導者の確保、資質向上を図る。(地域クラブ活動環境整備事業)				
		成果・課題	【成果】 ・スポーツ推進委員協議会において、組織を見直し、新たに「組織活性化部会」を設け、情報交換や研修活動を通じて、市町村でのスポーツ活動の活性化を促進した。 ・指導者となり得る方を対象に、指導に必要となる知識を習得する、資質向上のための研修会を4回開催(参加者:251人)するとともに、研修会において、人材バンクへの登録について働きかけるなど、指導者の確保を図った。 【課題】 ・市町村等と連携を図り、好事例の横展開等の情報共有を行うとともに、指導者のさらなる確保、資質向上を図る必要がある。 ・地域スポーツ活動の推進のため、総合型地域スポーツクラブとスポーツ推進委員等との連携を図る必要がある。	評価	2023年度	3	
					2024年度	3	
					2025年度		
					2026年度		
					2027年度		
					2028年度		
2	スポーツ振興課(おかやまマラソン事務局)	事業内容	・おかやまマラソンにおいて、県民が一体となって「支える」大会となるよう、大会運営を支えるボランティアを個人はもとより、企業、地域団体、学校等から広く募集する。				
		成果・課題	【成果】 ・おかやまマラソン2024においては、ランナー受付、給水・給食、沿道整理等において5,000人のボランティアが大会を「支える」人として活躍した。 ・大会後に行ったボランティアを対象としたアンケートでは、活動内容に「大変満足」「ますます満足」との回答が8割を超え、来年度以降の活動についても9割が「ぜひ活動したい」「どちらかといえば活動したい」と回答しており、「支える」立場として参加したことに対する満足度の高さがうかがえた。 【課題】 ・ボランティア経験者に対しては、リピーターとなってもらえるように、更に満足度を高めるための工夫を検討する。 ・ボランティア未経験者に対しては、参加の裾野を広げるため、様々な媒体を活用した効果的なPRを行う。	評価	2023年度	4	
					2024年度	4	
					2025年度		
					2026年度		
					2027年度		
					2028年度		
3	障害福祉課(再掲)	事業内容	・岡山県パラスポーツ指導員(初級)養成講習会の開催 ・パラスポーツ指導者養成講習会等への派遣				
		成果・課題	【成果】 ・岡山県パラスポーツ指導員(初級)養成講習会を延べ4日間開催し、11人が受講した。 ・ボランティア活動について、「第24回岡山県障害者スポーツ大会」では、学生ボランティア250人、係員ボランティア54人の参加があった。 【課題】 ・指導員の養成講習会について、毎年の受講者数にばらつきがあるため、県障害者スポーツ協会やパラスポーツ指導者協議会等とも連携し、受講者募集の方法について検討する必要がある。	評価	2023年度	3	
					2024年度	3	
					2025年度		
					2026年度		
					2027年度		
					2028年度		

4 総合評価

総合評価	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
	3.3	3.3				

第2次岡山県スポーツ推進計画（2025年改訂版） 2024年度施策評価シート

1 評価施策名

基本施策	Ⅳ スポーツ環境の整備		
施策の方向性	「ハード」「ソフト」「人材」の充実		
施策名	2 スポーツ施設の機能の充実と活用の促進	担当課室	環境文化部スポーツ振興課 土木部都市局都市計画課 保健医療部健康推進課 教育庁保健体育課

2 課室施策評価

（1）推進計画における数値目標

数値目標	指標名	県営スポーツ施設利用者数	計画策定時	492千人（2021年度）					
	指標の説明	岡山県総合グラウンド、倉敷スポーツ公園、岡山武道館、津山総合体育館・津山東体育館、美作ラグビー・サッカー場、備前テニスセンター、津山陸上競技場、笠岡陸上競技場の利用者数。（H30(1,735千人)とR元(1,623千)の平均(1,679千人)を基準に、1割程度の増を目指す。）	目標値	1,847千人（2028年度）					
			実績値	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
				1,480	1,576				

※ 2023年度の実績値については、2023年度施策評価シートにおいて誤りがあったため、2024年度施策評価シートにおいて訂正している。

（2）成果及び課題

成果	・障害のある人も含め、利用者の利便性向上のため、計画実施に向けて施設管理者と情報共有を行った。 ・津山陸上競技場照明LED化工事など、各施設の改修を行い、利便性の向上を図った。 ・全体の利用者数は増加傾向ではある。 ・包括協定に基づく安全管理計画による施設管理を行い、事故防止や事故発生時の体制の整備に努めた。
課題	・施設管理者と連携しながら、個別施設計画を着実に実行していくとともに、ユニバーサルデザインに関する知識の向上等利用者サービスの向上に向けた取組を行っていく必要がある。 ・スポーツ施設について、更なる利便性の向上に資するような情報提供の手法を検討する必要がある。また、感染症対策をはじめとした、利用者の安全安心に繋がる取組を強化する必要がある。 ・各施設の老朽化が進み、今後施設・設備の改修費用が高んできることから、個別施設計画に基づき、計画的な改修等により長寿命化を図っていく必要がある。中でも利用者の安全に関わる設備等については速やかに実行する必要がある。

3 各課における評価

番号	部課名	事務事業の実施内容、成果・課題及び総合評価					
1	スポーツ振興課	事業内容	・施設のユニバーサルデザインによる障害のある人が使いやすい環境づくり				
		成果・課題	【成果】 ・全ての施設（岡山武道館、津山総合体育館・津山東体育館、美作ラグビー・サッカー場、備前テニスセンター、津山陸上競技場、笠岡陸上競技場）について、障害のある人も含め、利用者の利便性向上のため、計画実施に向けて施設管理者と情報共有を行った。 ・津山陸上競技場照明LED化工事を始め、あらゆる立場の人が利用しやすい施設に向けた改修を行った。 【課題】 ・引き続き、施設管理者と連携しながら、個別施設計画を着実に実行していく必要があるが、予算措置が困難な事案もある。細やかな施設整備を行うことで、利用者サービスの向上を図り、利用者数の増加に取り組む必要があるため、施設管理者を対象とした研修会を実施するなど、ユニバーサルデザインに関する知識の向上を図る必要がある。	評価	2023年度	2	
					2024年度	3	
					2025年度		
					2026年度		
					2027年度		
					2028年度		
		事業内容	・計画的に改修等を行い、施設の長寿命化等を図るための個別施設計画を策定するとともに、その実行に取り組む。 ・指定管理者と連携しながら、積極的な利用者サービスの向上に向けた取組を行い、安全で適切な施設管理に努める。 ・スポーツ施設等の情報提供等に取り組み、利用者の増加や活用促進を図る。 ・県内スポーツ施設の設置者や管理者を対象に、施設・設備の点検や管理体制等の適切で具体的な知識についての情報提供を行う。				
		成果・課題	【成果】 ・津山総合体育館音響機器外設備一式更新工事はじめ、各施設の修繕等を行った。 ・指定管理者と連携し、利用サービスの向上に向けて施設管理を行った。 ・ホームページを活用した施設情報の提供を行い、スポーツ施設の活用を促進した。 ・県内スポーツ施設の設置者や管理者を対象に施設・設備の点検等についての情報提供を行った。 【課題】 ・施設管理者と連携しながら、施設の修繕や長寿命化等を計画的に実行する必要があるものの、必要な予算の確保等に課題がある。利用者及び職員の安全確保のため、防火避難上重要な設備については修繕等を速やかに実行する必要がある。 ・利用者サービスの向上を図り、利用者数の増加に取り組む必要がある。 ・環境負荷低減への社会的なニーズを踏まえ、個別施設計画に盛り込んだ照明設備のLED化等の計画的な実施に加え、太陽光パネル設置の検討など県有施設の省エネ化に取り組む必要がある。	評価	2023年度	3	
					2024年度	3	
					2025年度		
					2026年度		
					2027年度		
					2028年度		

2	都市計画課	事業内容	・施設のユニバーサルデザインによる障害のある人が使いやすい環境づくり			
		成果・課題	【成果】 ・障害のある人だけでなく子どもから高齢者まで、そして観客・競技者・運営者などあらゆる立場の人が不便を感じることなく利用できるよう、施設にはきめ細かくユニバーサルデザインを採用している。 （車椅子対応観客席、車椅子対応スロープ、車椅子対応型エレベーター、車椅子使用者駐車場、多目的トイレ、音声案内エレベーター、点字ブロック等） ・総合グラウンドの体育館と野球場の間にある屋外多目的トイレについて、清潔で明るく車いす利用者が利用しやすい多目的トイレへの改修に合わせ、ベビーチェアを設置した。 ・倉敷スポーツ公園のマスカッツスタジアム内の多目的トイレについて、温水洗浄便座への改修を行った。	評価	2023年度	3
					2024年度	3
					2025年度	
					2026年度	
					2027年度	
					2028年度	
		事業内容	・長寿命化計画に基づき、施設機能の維持充実のため必要な改修整備を実施する。 ・指定管理者は利用者のニーズにあった自主事業を実施する。 ・指定管理者は安全管理計画を策定し、これに基づき施設管理を実施する。 ・指定管理者は包括協定に基づき、アンケートを実施するなど利用者のニーズを把握し、ニーズにあった運営を実施する。			
		成果・課題	【成果】 ・総合グラウンドは、コンソーシアムが指定管理者となっており、構成員の有するノウハウ、情報発信力を生かして幅広いイベントの実施、効果的な利用促進策を展開した。 ・倉敷スポーツ公園のマスカッツスタジアムについて、人工芝や観客席の改修を行うなど、施設機能の維持充実に努めた。 ・安全管理計画に基づき施設管理を行った。 ・指定管理者と連携をしながら、利用者からのアンケートを実施するなどサービス向上を行った。 【課題】 ・総合グラウンドについては、ファジアーノ岡山のJ1リーグ昇格により、観客数が大きく増加している。また近年の温暖化の影響を受け、高校等の体育祭、球技大会等を冷房完備のアリーナで開催する学校が増加している。基本的な感染症対策、熱中症対策等に加え、適切な設備管理、樹木管理等により、利用者の安全を確保した上で、更なる利用の促進を推進していく必要がある。	評価	2023年度	3
					2024年度	3
					2025年度	
					2026年度	
					2027年度	
					2028年度	

3	健康推進課	事業内容	岡山県南部健康づくりセンターの利用促進				
		成果・課題	【成果】 ・岡山県南部健康づくりセンターについて、指定管理者と連携し、利用者の利便性の向上などに取り組んだ。 【課題】 ・利用者の利便性向上のため、更なる取り組みが必要である。 ・施設機能の維持充実のため、必要な改修整備に取り組む。	評価	2023年度	3	
					2024年度	3	
					2025年度		
					2026年度		
					2027年度		
					2028年度		
4	保健体育課	事業内容	・学校体育施設開放事業の推進				
		成果・課題	【成果】 ・公立学校の体育施設の開放率は国の平均を上回っている。 R2年度開放状況 屋外運動場79%（70%）、体育館84%（76%）、 武道場57%（41%） ※（ ）は全国平均 ※学校体育施設設置等状況調査（R3.10月時点） 【課題】 ・公立学校の体育施設の開放率は、全国平均を上回っているものの、学校部活動の地域移行が進むにつれ、学校体育施設の利用ニーズが高まってきていることから、さらに多くの県民が利用できるように、これまで利用実績の無かった学校についても、利用申請に対する受付体制の確立や意識改革を促していく必要がある。	評価	2023年度	3	
					2024年度	3	
					2025年度		
					2026年度		
					2027年度		
					2028年度		

4 総合評価

	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
総合評価	2.8	3.0				

第2次岡山県スポーツ推進計画（2025年改訂版） 2024年度施策評価シート

1 評価施策名

基本施策	Ⅳ スポーツ環境の整備		
施策の方向性	「ハード」「ソフト」「人材」の充実		
施策名	3 スポーツ界におけるDXの推進	担当課室	環境文化部スポーツ振興課 土木部都市局都市計画課

2 課室施策評価

(1) 推進計画における数値目標

数値目標	指標名	設定なし	計画策定時	
	指標の説明		目標値	
			実績値	

(2) 成果及び課題

成果	岡山武道館等、各県有スポーツ施設でキャッシュレス決済を導入し、利便性の向上を図った。
課題	団体、大会利用ではキャッシュレス利用が少なく、個人利用が主体のため、利用率は高くない。

3 各課における評価

番号	部課名	事務事業の実施内容、成果・課題及び総合評価					
1	スポーツ振興課	事業内容	・多くの県民が広く利用する県有施設に、利用料金の支払いに、キャッシュレス決済を導入し、利便性の向上を図る。				
		成果・課題	【成果】 ・2023年度に岡山武道館、津山陸上競技場、笠岡陸上競技場、津山総合体育館、備前テニスセンター、美作ラグビー・サッカー場の各窓口でキャッシュレス対応端末を設置し、利便性が向上した。 【課題】 ・個人利用が主体のため、団体、大会利用ではキャッシュレス利用が少ない。	評価	2023年度	3	
					2024年度	3	
					2025年度		
					2026年度		
					2027年度		
					2028年度		
2	都市計画課	事業内容	・岡山県総合グラウンドと倉敷スポーツ公園の利用者の利便性の向上を図るため、利用料金の支払いに、キャッシュレス決済を導入する。				
		成果・課題	【成果】 ・2023年度から、岡山県総合グラウンドでは陸上競技場や体育館の窓口などに、倉敷スポーツ公園ではマスカットスタジアムの窓口でキャッシュレス対応端末を設置している。 ・2024年度には、岡山県総合グラウンドにキャッシュレス対応の自動券売機3台を導入した。 ・以前より、キャッシュレス対応を望む声は少なからずあったため、利便性が向上したと考えている。 【課題】 ・両施設とも、金額の大きい案件については、口座振替となっているものが多いため、収入額全体に占めるキャッシュレス利用率は、あまり高くはない。	評価	2023年度	3	
					2024年度	3	
					2025年度		
					2026年度		
					2027年度		
					2028年度		

4 総合評価

総合評価	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
	3.0	3.0				

第2次岡山県スポーツ推進計画（2025年改訂版） 2024年度施策評価シート

1 評価施策名

基本施策	IV スポーツ環境の整備		
施策の方向性	「ハード」「ソフト」「人材」の充実		
施策名	4 誰もがスポーツに気軽に親しめる情報発信	担当課室	環境文化部スポーツ振興課

2 課室施策評価

(1) 推進計画における数値目標

数値目標	指標名	スポーツ情報ウェブサイト「おかやまスポーツナビ」のアクセス数	計画策定時	28,103件（2018年度～2021年度の平均）					
	指標の説明	過去4年（H30～R3）の平均（28,103件）を基準に、1.5倍程度の増を目指す。（R3：東京大会によるアクセス増）	目標値	42,000件（2028年度）					
			実績値	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
				26,273	22,328				

(2) 成果及び課題

成果	・ポータルサイト「おかやまスポーツナビ」を通じたスポーツ情報の発信をはじめ、地域クラブ活動に関する指導者情報を掲載するためのシステム改修などに取り組んだ。 ・2024年度も多くのアスリートが各種大会で活躍した。岡山県スポーツ特別顕彰は7名、岡山県トップアスリート賞は個人46名・団体9、岡山県生涯スポーツ功労者表彰は個人3名、岡山県スポーツマスターズ賞は個人3名を表彰した。
課題	・ポータルサイト「おかやまスポーツナビ」をより活用していただけるよう、地域クラブ団体等の情報検索機能の改修を行うとともに、県民ニーズに沿った情報を掲載するなど効果的な情報発信に取り組む必要がある。

3 各課における評価

番号	部課名	事務事業の実施内容、成果・課題及び総合評価						
1	スポーツ振興課	事業内容	・県内での「する」「みる」「ささえる」スポーツ活動の充実のため、県内のスポーツ情報を一括提供できる唯一のポータルサイトである「おかやまスポーツナビ」をより魅力的なものに充実させ、県内各地で行われているスポーツ情報を発信していく。（地域クラブ活動環境整備事業） ・国際大会や全国大会において、優秀な成績を収めた個人又は団体及び優秀な指導者を顕彰し、本県スポーツの振興に資する。（スポーツ特別顕賞、トップアスリート賞、スポーツマスターズ賞、生涯スポーツ功労者表彰）			評価	2023年度	3
							2024年度	3
		成果・課題	【成果】 ・ポータルサイト「おかやまスポーツナビ」を通じたスポーツ情報の発信をはじめ、地域クラブ活動に関する指導者情報を掲載するためのシステム改修などに取り組んだ。 ・2024年度も多くのアスリートが各種大会で活躍した。岡山県スポーツ特別顕彰は7名、岡山県トップアスリート賞は個人46名・団体9、岡山県生涯スポーツ功労者表彰は個人3名、岡山県スポーツマスターズ賞は個人3名を表彰した。 【課題】 ・ポータルサイト「おかやまスポーツナビ」をより活用していただけるよう、地域クラブ団体等の情報検索機能の改修を行うとともに、県民ニーズに沿った情報を掲載するなど効果的な情報発信に取り組む必要がある。				2025年度	
							2026年度	
							2027年度	
							2028年度	

4 総合評価

総合評価	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
	3.0	3.0				